

『小樽市花園小海の教室及び小樽運河遊覧船体験乗船』

四面を海に囲まれた日本にとって、海上交通、海上輸送はきわめて重要です。

しかし、これら海運を支える内航船員の高齢化が進み、将来的な船員不足が懸念される状況となっており、若年内航船員の確保が喫緊の課題となっております。

北海道運輸局では、海事思想の普及、海事海洋教育の推進の一環として、小学校高学年（今般は4年生を対象）を対象に港や船の役割について理解を深めてもらうため、海の教室及び体験乗船を実施しました。

当日は、花園小学校4年生30名が参加、はじめに学校の教室（視聴覚室）で講座を行い、その後バスで移動して運河クルーズを実施しました。

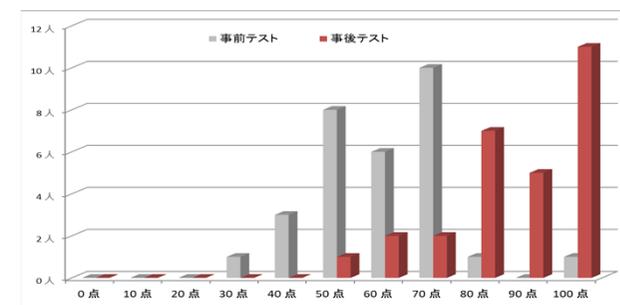
アンケート結果では約9割の生徒から「参考になった」、「初めて知ることが多かった」という解答があったものの、「海の仕事について、興味がある、あこがれる」という問いでは約3割のみの解答となった。引き続き魅力を伝える必要があることを再認識いたしました。

1. 日時 令和5年9月21日（木）9:40～12:00
2. 場所 小樽市立花園小学校及び小樽運河
3. 主催 北海道運輸局
北海道海事産業人材確保・育成推進協議会
4. 協賛 公益財団法人日本海事広報協会
5. 参加者 小樽市立花園小学校4年生30名



◇取組の効果検証◇

海の教室「実施前」と「実施後」に同じテストを行ったところ、多くの生徒が実施後にアップする結果となりました。



	事前テスト	事後テスト
平均点	59.7点	86.4点
80点以上	2人 6.7%	23人 82.1%

※実施前は100点満点は1名だけでしたが、実施後11名に増えました。みんなしっかり聞いてくれた結果です。